
JF T S 2022年度 通常総会資料

- 第1号議案 2021年度事業報告
- 第2号議案 2021年度収支決算
- 第3号議案 2022年度事業計画
- 第4号議案 2022年度収支予算
- 第5号議案 役員の選出（変更）

2022年5月21日

日本フードツーリズム学会

第1号議案 2021年度事業報告

(1) 通常総会

- ・日 時：2021年5月22日（土） 10:00～12:00
- ・会 場：オンライン（議決権行使書）
- ・議 題：第1号議案 2020年度事業報告
 第2号議案 2020年度収支決算
 第3号議案 2021年度事業計画
 第4号議案 2021年度収支予算
 第5号議案 役員の選出（追加）

(2) 理事会

回	開催日	内 容	出席者	会 場
第1回	4月24日（土）	【審議事項】 ・研究分科会の採択審議 ・新入会員の入会審査 ・第4回研究大会の概要 ・学会運営と理事会体制の改善 ・2020年度事業報告と決算 ・2021年度事業計画と予算 ・2021年度役員構成の検討 【報告事項】 ・総会／第2回理事会のスケジュール	9名	オンライン
第2回	5月22日（土）	【審議事項】 ・2021年度通常総会の最終確認 ・新入会員の入会審査 ・広報（ホームページおよび facebook）の展開 【報告事項】 ・年報『フードツーリズム研究』第6号の編集進捗	8名	オンライン
第3回	8月21日（土）	【審議事項】 ・第4回研究大会の内容検討 ・新入会員の入会審査 ・理事会体制の変更 ・広報（ホームページおよび facebook）の強化 【報告事項】 ・年報『フードツーリズム研究』第6号の発送状況 ・会員現況	11名	オンライン
第4回	11月21日（土）	【審議事項】 ・第4回研究大会の概要 ・フードツーリズムセミナーの企画 ・研究分科会の公募 【報告事項】 ・年報『フードツーリズム研究』第6号の発送状況 ・会員現況	8名	オンライン
第5回	2月 5日（土）	【審議事項】 ・新入会員の入会審査 ・理事会および総会のスケジュール 【報告事項】 ・第4回研究大会の最終確認 ・会員現況	11名	オンライン

		<ul style="list-style-type: none"> ・学会 facebook の閉鎖 ・研究分科会の公募 ・時期役員の選出 		
--	--	---	--	--

(3) フードツーリズム研究セミナー

- ・日 時：2021年5月22日（土） 11:00～12:10
- 会 場：オンライン
- 講 師：田中浩子氏（立命館大学食マネジメント学部副学部長・教授）
- テーマ：食を起点としたまちづくりとフードツーリズム

(4) 視察研修

- ・国内または海外でのフードツーリズムに関連する視察研修を1～2回行う。
⇒新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国内外ともに実施できなかった。

(5) 第4回研究大会

- ・日 時：2022年2月5日（土） 13:00～17:00
- ・会 場：ハイブリッド開催（中央電気倶楽部&Zoom）
- ・参加者：44名（うち、非会員は14名）
- ・プログラム
 - ①研究報告（3件）
 - ・フードトレイルにおける「集積」と「周遊」に関する考察
中子富貴子
 - ・ツーリズム視点に立脚した「おにぎり」に関する基礎的研究
藪下保弘・野村京子・森菜々花
 - ・オープンファクトリーとフードツーリズムに関する一考察
：大阪府東大阪市「こーばへ行こう！」と「東大阪カレーパン」の事例より
岡恵
 - ②研究分科会報告（3件）
 - ・震災復興と三陸フードツーリズムに関する研究
白石恵子
 - ・池袋中華街と最近の「中国料理」
稲本恵子・李娜
 - ・泉州地域におけるフードツーリズムの展開に関する考察
小川雅司・平島佳世子
 - ③基調講演
 - ・美食観光都市サン・セバスティアン、その成り立ちに迫る
山口純子氏（美食プロデューサー）

(6) 年報『フードツーリズム研究』

- ・第6号を2021年5月発行した。
*研究成果を社会に広げる目的で、第5号と同様、第6号も国立国会図書館および公益財団法人味の素の文化センターに納本した。

(7) 研究分科会（研究支援費）の公募

- 2020年度は3件（うち2件（①と②）は継続）の研究分科会が採択された。

①日本における「中華料理」と「中国料理」：横浜と池袋を中心に

稲本恵子・李娜・張茜

②泉州地域における農産物のブランド化とフードツーリズムへの活用

小川雅司・傍嶋則之・初澤敏生・山口隆子・五嶋俊彦・平島佳世子・萩野哲也

③震災復興と三陸フードツーリズムに関する研究

白石恵子・浅野幸治・王静・高田剛司・村上喜郁

(8) 会員数の状況

- 2022年3月31日現在

43名（うち、正会員41名、学生会員2名、賛助会員0名）

*昨年度から4名増加

なお、顧問、名誉会員については、年会費を徴収していない

第2号議案 2021年度収支決算

2021年度収支決算書 (会計期間：2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】			【支出の部】		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前年度繰越金	453,985	453,985			
会費収入	199,000	235,000	事業費	161,113	288,488
（正会員）	195,000	225,000	（謝金）	40,000	88,888
（学生会員）	4,000	10,000	（旅費交通費）	1,100	30,000
（賛助会員）	0	0	（研究支援費）	69,788	130,000
事業収入	0	15,000	（会場費）	37,500	33,000
（セミナー参加費）	0	15,000	（印刷費）	0	1,100
寄付金	0	0	（消耗品費）	12,725	5,500
協賛金	0	0	管理費	10,583	20,300
雑収入	5	0	（HP運営費）	5,638	6,000
			（通信費）	4,945	3,300
			（雑費）	0	11,000
合計	652,990	703,985	合計	171,696	308,788
			次年度繰越金	481,294	395,197
				(三井住友銀行)	

監査の結果、上記決算書に間違いのないことを報告いたします。

2022年5月16日 会計監査

山口 隆子
山口 隆子 (H) 代筆



第3号議案 2022年度事業計画

(1) 通常総会

- ・日 時：2022年5月21日(土) 10:00~12:00
- ・会 場：ハイブリッド(大阪産業大学梅田サテライト&Zoom)
- ・議 題：第1号議案 2021年度事業報告
第2号議案 2021年度収支決算
第3号議案 2022年度事業計画
第4号議案 2022年度収支予算
第5号議案 役員の選出(変更)

(2) 理事会

- ・年間5回程度を開催する。

(3) フードツーリズム研究セミナー

- ・外部講師などを招き、フードツーリズムに関連する研究セミナーを1~2回開催する。状況によってはオンライン開催とする。参加対象は正会員とし、メールでの告知とするが、有料で非会員の参加も検討する。
- ・正会員の獲得も兼ねた研究セミナーとして、会員および非会員(非会員は有料——入会した場合は無料する)を対象に、2022年上半期に酒ミュージアム(白鹿記念酒造博物館)を訪問、館長の弾正原佐和氏からの講座を受ける。
- ・主として会員対象に、通常総会の開催と合わせて、研究セミナーを実施する。
 - *「コロナ禍で変貌した神戸の食と文化」
江弘毅氏(神戸松蔭女子学院大学教授、株式会社140B取締役編集責任者)

(4) 視察研修

- ・本年度は国内でフードツーリズムに関連する視察研修を会員および非会員を対象に1回開催する。場所、内容などは現時点では未定であるが、学会の研究分科会と連携した視察とすることも検討する。
 - *視察研修は原則、現地集合・解散とし、必要な交通手配、宿泊等は各自個別に行う。視察研修に関わる謝礼などの経費は参加者で案分負担する。
 - 傷害保険等も参加者の責任での加入とし、学会としては事故等については免責とする。

(5) 第5回研究大会

- ・日時：2023年3月4日(土) 13:00~18:00
場所：東京経済大学国分寺キャンパス
 - *大会テーマやプログラムについては、今後の理事会で企画するが、概ね、第4回研究大会の内容(基調講演、研究分科会報告、研究報告)を踏襲する。

(6) 年報『フードツーリズム研究』

- ・第7号の発行に向けて、2022年4月15日に原稿を締め切り、同年5月付けて発行するべく、現在、最終確認中である。

- なお、年報をISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号) を取得し、公に認められた逐次刊行物と位置付けるため、2022年5月発行の本号より『日本フードツーリズム学会誌』と改称し、「第1号」とする。

(7) 研究分科会

- 2022年2月6日に公募を開始し、3月31日に締切、4月23日の第1回理事会において、以下の2件が採択された。なお、分科会への参加を希望する会員は、事務局から研究代表者にアポイントメントを取りますので、学会事務局にご連絡下さい。

【新規】大阪産（おおさかもん）を活用したフードツーリズム研究

平島佳世子（代表者）・小川雅司

【継続】震災復興と三陸フードツーリズムに関する研究

白石恵子（代表者）・浅野幸治・王静・高田剛司・村上喜郁

(8) 広報の強化

- 本学会の存在を広く社会に広めるために、学会事務局に「広報検討WG」を設置し、ホームページの改善とSNSによる情報発信を強化する。また、学会のブランディングについて、理事会を中心に検討し、1年後を目処に新ロゴの設定を行う。

： 広報検討WGの構成 — 平島佳世子、浅野幸治、白石恵子、小川雅司

： 広報の強化に関心のある会員のみなさんには、是非とも参画をお願いいたします。参画頂けるかたは事務局までメールでご連絡下さい。

第4号議案 2022年度収支予算

2022年度収支予算書 (会計期間：2022年4月1日～2023年3月31日)					
---	--	--	--	--	--

(単位：円)

【収入の部】			【支出の部】		
科目	予算額	前年度実績	科目	予算額	前年度実績
前年度繰越金	480,794	453,985			
会費収入	235,000	199,000	事業費	255,000	161,613
(正会員)	225,000	195,000	(謝金)	70,000	40,000
(学生会員)	10,000	4,000	(旅費交通費)	20,000	1,100
(賛助会員)	0	0	(研究支援費)	100,000	70,288
事業収入	15,000	0	(ブランド検討費)	20,000	—
(ゼミナー参加費)	15,000	0	(会場費)	40,000	37,500
寄付金	0	0	(印刷費)	2,000	0
協賛金	0	0	(消耗品費)	3,000	12,725
雑収入	0	5	管理費	55,000	10,583
			(HP運営費)	40,000	5,638
			(通信費)	5,000	4,945
			(雑費)	10,000	0
合計	730,794	652,990	合計	310,000	172,196
	(250,000)		次年度繰越金	420,794	480,794

<科目別予算計上の考え方>

前年度実績を参考にしながら、次のような考えかたにもとづき予算を計上した。

- ・会費収入：正会員45名（昨年度末で41名）、学生会員5名（昨年度末で2名）を想定。
- ・事業収入：2回の開催（1人当たりのセミナー参加費：500円）を想定。
- ・研究分科会：1研究分科会あたり上限5万円とする（継続の1件は昨年度の残金のみ使用可能）。
- ・会場費：理事会はオンラインや理事の本務校を積極的に利用するが、研究セミナーなどでその他有料の会議室を利用する場合もあることを想定。

第5号議案 役員の選出（変更）

会則により、役員の任期は3年であるが、諸般の事情により、2021年度をもって、理事の浅野幸治（C&Kデザイン）と王静（大阪観光大学）が退任した。また、監査を2名体制にするべく、新たに岡恵（大江山特許商標事務所）が監査に就任する。

【2022年度役員（敬称略）】

会 長：中村忠司（東京経済大学）

副会長：村上喜郁（追手門学院大学）

事務局長：小川雅司（大阪産業大学）

理 事：青木洋高（株式会社JTBPパブリッシング）

稲本恵子（共栄大学）

小畑博正（嵯峨美術大学）

五嶋俊彦（大阪観光大学）

傍島則之（名古屋産業大学）

萩野哲也（一般財団法人関西観光本部）

平島佳世子（いづみ合同会社）

監 事：山口隆子

岡恵（大江山特許商標事務所）